

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年2月17日 (13:00 ~14:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	常勤8名. 非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	4人	1人	人	9人

前回の改善計画	認知症のご利用者の意向を読み取る為に寄り添いコミュニケーションをとり支援内容が家族本位にならないような臨機応変な支援をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人の意思がはっきりしない事が多くコミュニケーションをとって気持ちを汲み取るよりも、ご本人の今に向き合い一緒に寄り添い時間を過ごした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	2	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・サービス利用開始前には、ご家族本人と一緒に困っている事や援助が必要なことについて話し合いをもっている。情報収集を行う(居宅ケアマネの情報提供書、看護サマリー)また、入院中であれば事前の面会、体験利用も含めて総合的に判断し生活状況に応じた支援サービスを提供できるようにしている。 ・利用開始にあたって環境に慣れるような声掛けや他の利用者と良好な関係を保てるように配慮を行っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・家族の話や収集した情報と異なる点がありご本人が認知症の場合は進行具合によってもその内容の食い違いが大きいため本人の必要な支援が出来ない場合もある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・認知症の症状の進行具合は、本人に接してみないとわからないため利用開始の際は、試行錯誤しながら対応している。そのため職員の支援方法や情報を共有しケアの統一を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年2月17日(13:00~14:00)
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	常勤8名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	人	9人

前回の改善計画	日々の業務に追われているが、ご利用者とゆっくりと向き合う時間が取れる様に調整を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	余裕のある人員体制ではないため、ゆっくり向き合う時間はとれないが、レクリエーション活動や個別機能訓練の際に個別対応となる場面での向き合う時間は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	8	0	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	0	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	7	0	0	9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の目標は日々の会話の中から読み取り、個別機能訓練や手作業時に個々に向き合う事ができている。毎月の小規模会議の際に利用者の支援内容について意見交換を行い個別機能訓練の変更等の検討が出来る。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意欲の低下があり、設定した目標に対する活動の意味の理解が難しいので本人の満足度や達成感が得られているのかわからない。 	

次回具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個別機能訓練の担当者にてご利用者に寄り添い向き合う時間を調整するとともに担当者も自覚をもって時間を確保するように努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 2月 17日 (13:00~14:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	常勤8名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	0人	9人

前回の改善計画	認知症のご利用者が多くなりコミュニケーションをとる為時間が十分でないため余裕のある人員配置を計画しご本人の気持ちに寄り添い傾聴できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者とコミュニケーションをとる為に少しの時間でも横に座って会話する事で寄り添うことはできていたが十分とは思えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	8	1	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	2	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	4	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	3	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	4	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・以前の暮らしについては、利用前の情報や家族、本人の話の中から収集できている。ADLの確認は体験利用の際に出来ている。また、日々の状態に合わせた食事入浴排泄等の支援に繋げており体調不良時には看護職員と連携後に家族へ病院受診のお願いをしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・認知症の進行具合によっては、本人様の思いを本当にくみ取れているのか判断することが難しい。また、日々の業務に追われて個々との関りやコミュニケーションを取る時間が不足している。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご利用者との関りを持つ時間の確保や、レクリエーション活動を通じてご利用者の笑顔を増やすことで思いをくみ取る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成2年2月17日(13:00~14:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	常勤8名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	0人	9人

全快の改善計画	地域での暮らしを支えるために住民の方との交流を図る。職員が地域行事に参加できる機会を持つために業務配分を調整する。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所の主催する行事には参加できており交流も図れている。しかし、小祝主催の行事への参加は見学だけで終わることが多いのが現状である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	0	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	0	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	2	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	5	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 小祝地域での週一体操の参加や訪問看護ステーションと連携を得て地域の健康増進のためにお達者倶楽部を開催している。 送迎時にご近所の方と会う機会があり挨拶をかわし利用者も含め交流ができている。 南部さくらサービスなど社会福祉協議会の有償ボランティア活用もできている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 認知症のため地域と疎遠になっている人もおり家族にお聞きするが地域との関係は良く理解できていない。 全ての利用者の地域資源は、把握できていないが出来ている方もいる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
小祝にお住まいの方(南部地区)の地域資源の把握はできているので他の地区の事に関しても情報を集め活用できるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 2 年 2 月 17 日 (13:00~14:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	常勤 8 名・非常勤 1 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	1 人	0 人	9 人

前回の改善計画	事業所は臨機応変に対応できるように職員数に余裕をもたせたり、サービス内容（通いを訪問に変更）の調整を行う上で家族の協力を得る努力も行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員を十分に配置しても通いの一日の利用定員が一杯で当日の変更が難しい日もあるため家族の協力や訪問にて対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	3	1	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	3	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	3	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	5	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の状態の変化に応じ訪問看護や福祉用具等のサービスを追加にて対応し自宅での生活を支えている 家族の在宅時間に合わせて送迎時間を変更したり、急な泊り、訪問や配食の追加を行っている。今のサービスでも難しくなった場合には、家族と相談の上で施設入所やGHへの住み替えを提案している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 通いサービスが定員で一杯の時は利用日の変更が希望に沿えない事がある。 介護保険サービス料金は定額で良いが、泊りを利用する事で費用がかさむ事がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
中等度（要介護 2 や要介護 3）のご利用者の増加に伴い毎日の利用の要望が多く、通い定員 15 名の中の提供を可能にするため、家族の支援できる部分は協力を頂き施設任せにならない様にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成2年 2月 17日 (13:00 ~14:00)
6. 連携・協働	メンバー	常勤8名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	0人	0人	9人

前回の改善計画	他のサービス機関や包括支援センターの会議にスタッフ全員の出席は難しいので会議内容の周知を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議出席者は、会議の内容を伝達し周知に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	4	1	1	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	3	2	2	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	7	0	0	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	3	3	0	0

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括センターのケア会議に参加し見聞を広め意見交換を行いより良いケアを目指して勉強している。 ・自治体の会議や担当者会議に参加した職員が伝達講習を受けている。 ・地域の健康体操に参加したり正田門祭り、雛祭り、小祝の秋祭りのお神楽の見学に伺い地域の方との交流も出来ている。近くの保育園の園児の来訪や高齢者のボランティア団体の踊り、大正琴の定期的な演奏会もある。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・その他のサービス機関との会議は、管理者やそれぞれの担当者が出席するため他の職員は難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職種や業務上の都合でスタッフ全員が地域会議に出席する事は難しいため前回同様に主席者は、会議内容の伝達を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成2年 2月 17日 (13:00 ~14:00)
7. 運営	メンバー	常勤8名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	0人	9人

前回の改善計画	事業所がメインの行事開催は多いが、地域と協働した取り組みは難しいので出来る事からはじめる。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域との交流行事としてお達者倶楽部(健康教室)開催場所を憩いの家に限定して開催する事としたので年6回の実施ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	6	1	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	0	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員の意見や改善点は小規模会議でまとめたうえで管理者を通じて管理者会議にて報告対応している。 また、地域の方からのお声は、運営推進会議にて反映されています。 事業所の防災訓練は地域の消防団の協力もあり適切な助言も頂いている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と事業所と一緒に計画する取り組みは難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
前年の改善計画でもある憩いの家での健康教室の際に、参加されている地域の方にアンケート協力を頂きその結果を利用して一緒に何を題材にするかの検討をおこなう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 2 年 2 月 17 日 (13:00~14:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	常勤 8 名・非常勤 1 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	0 人	0 人	9 人

前回の改善計画	計画的な人員配置に努め勤務時間内での研修参加に繋げる。また、遠方でも参加できるようにしたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の研修参加の環境を整えるために公休日での参加は、研修費が支給されるように改善された。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	5	1	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	3	1	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6		0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所内全体の勉強会、小規模の定期会議での勉強会も行っており希望する外部研修は勤務調整にて参加できている。時間外での研修参加の際は研修費用が支給されるようになった。参加できなかった職員には伝達講習を行って知識の共有を図っている。又、ヒヤリハット報告書にて事故を防ぐための検討会もおこなっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 参加したい研修が遠方の時は難しい事がある。 日々の業務に追われて研修参加の体力がない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修が遠方でも参加出来るように勤務調整を行う努力をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成2年 2月 17日 (13:00~14:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	常勤8名・非常勤1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	1人	0人	9人

前回の改善計画	成年後見制度を必要としている利用者様はいないが、いつでも活用できるように研修を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所の研修にて成年後見制度に関しても勉強会を実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	9	0	0	0	9
② 虐待は行われていない	9	0	0	0	9
③ プライバシーが守られている	9	0	0	0	9
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	0	4	3	2	9
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	9	0	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 委員会を設置し毎月の小規模会議にて身体拘束、虐待防止の勉強会は出来ている。日々のケアの中で不適切な事例がなかったか意見交換し検討をおこなっている。個人情報に関してもマニュアルの遵守をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度に関しては、活用の対象者がいない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
引き続き成年後見制度を勉強し、いつでも活用できるように体制を整える。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和元年度（H31）

法人名	株式会社リーフ	代表者	阿部 優喜	法人・事業所の特徴	「小祝」と名称にあるように地域との関わりを大切にし、運営推進会議を通じて情報を収集し、地元行事への参加を支援することで、利用者の社会生活の継続に努めています。一日でも長く自宅で過ごすため、運動機能向上体操を実施し、毎月の体力測定により、評価に繋がっています。
事業所名	小規模多機能ホーム小祝	管理者	佐藤真里子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員が評価しまとめた事業所自己評価を振り返る事で課題の把握に努める。	事業所評価の内容を細かく読み取り理解できない部分は、職員同士で話し合いを行う時間を作る様にする。	職員の皆様で取り組んでいる事は、分かった。説明もありましたので良かったが細かいことは難しい。	職員の評価をまとめた事業所の自己評価を振り返り課題の把握に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域に開かれた施設になるように毎月のイベント等を回覧板やポスター掲示により配信する。	掲示板を利用したの行事の案内も継続できており行事等は回覧板でも通知されている。	施設の写真入り新聞を見ると楽しそうに様々な行事に参加されている姿が見受けられるので居心地は良いと感じられた。	地域の方が立ち寄りやすい施設にするためにもイベント等の発信を継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	健康教室（お他者倶楽部）にて気軽に相談できる場所を設ける。	お達者倶楽部の時に雑談しながら色々とお話する機会が増えており地域の方とのコミュニケーションの場となって良いと感じる。	健康教室の時に、色んな情報を聞くことが出来たためになっている。	健康教室は好評なので地域の方が気になる事をテーマ題材にして地域との関わりを深める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の暮らしや健康増進のお手伝いを行う。	お達者倶楽部で理学療法士による肩・腰・膝・姿勢に関する分かりやすい勉強会で楽しみながら健康に繋げる事ができた。	小祝のご利用者の方も一緒に体操が出来ているし世間話も楽しい。	健康教室にご利用者様も一緒に参加し交流を図り地域との関わりを持つ。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議に出来るだけ利用者家族の出席の協力を得てご意見を頂く。	運営推進会議で利用者の家族に率直な意見をお聞きしたかったが、都合がつかない時が多かった。	会議の出席者にも都合があると思われる。会議で地域の行事（小中学校・幼稚園）を知ることができて参加の機会が増えている。	運営推進会議での意見交換を参考にし問題点があれば改善する。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議で防火管理者が防災計画について報告が出来るようにする。	運営推進会議での報告の機会は無かったが、防災訓練の際に参加された地域の方々に簡単に話をした。	職員さんが災害時の避難所で必要な物を分かり易く説明してくれた時はとても役に立ちました。	運営推進会議で防火管理者による防災計画を報告する機会をつくる。